

市の人口と予算(5月1日現在)

人口・世帯()内は前月比/前年同月比	
合計	= 166,660人 (+167/+777)
男	= 83,041人 (+108/+313)
女	= 83,619人 (+59/+464)
世帯	= 66,833世帯(+243/+859)
予算	
一般会計	= 442億200万円
特別・企業会計	= 370億569万8千円

みんなでつくろう！ 地球に優しい低炭素なまちを。

特集：ストップ温暖化！
ながれやま

図環境政策課 ☎7150-6083

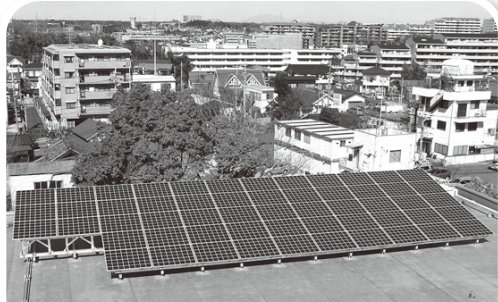


地球温暖化が進むと何が起こるのでしょうか。

海水面の上昇による陸地の水没、気候変動による水不足や砂漠化の進行、それともなう食料生産の危機や生態系の変化。これらは遠い世界の話ではなくて、私たちの生活にも直接に関わってくるのです。

この温暖化の原因となっているのが二酸化炭素などの温室効果ガスです。流山市では、できるだけ二酸化炭素を出さない「低炭素都市」をめざして様々な事業を行っています。二酸化炭素を減らすためには、皆様のご家庭や事業所での取り組みが欠かせません。電気のムダ使いをしていませんか？公共交通機関を上手に利用していますか？これまでの生活スタイルを見直し、二酸化炭素削減に向けたさらなる一歩を踏み出しましょう！

太陽光発電



太陽光パネルを設置している
市役所第2庁舎

電気自動車



市で導入した排気ガスを
一切出さない電気自動車

ぐリーンバス



市内6ルートで運行している
ぐリーンバス

緑のカーテン



流山の「山」の字をかたどった緑のカーテン
(写真コンテスト「アイデア賞」受賞作品)

ストップ温暖化！

ながれやま 20⇒20プラン

～ソフトパワーで目指す低炭素都市ながれやま～

流山市では、「低炭素都市ながれやま」の実現に向け、地球温暖化対策実行計画「ながれやま20⇒20プラン」に基づき様々な取り組みを行っています。これは、市民や事業者の皆さんによる実践的な行動による「ソフトパワー」を大きな力として、低炭素都市を創出していこうというものです。にこにこ、無理なく、身近でできることから。二酸化炭素20%削減を目標に取り組んでいきましょう。

井崎義治市長からの メッセージ

温暖化防止と節電
緑のカーテンで涼しい夏を



より良い環境を次世代に引き継ぐことは、今を生きる私たちの使命です。特に、地球温暖化の問題は、個人・企業・自治体など、各々が可能な対策に取り組むべき共通の課題です。

流山市では、太陽光発電設備の設置奨励や自家用車の利用に代わる公共交通網の充実、公園や街路樹を整備してCO₂吸収源となる樹木を増やすなど、低炭素な街づくりを進めています。

今号では、今年の夏も節電が叫ばれていることから、ゴーヤによる緑のカーテンづくりについて、その作り方から効果までを特集しました。

緑のカーテンによる遮光や葉の蒸散作用は、室温を4度程度低くすることが実証されています。さらにゴーヤは、実を様々な調理方法で食べて楽しむこともできます。昨年、ゴーヤ料理の試食会に参加させていただきましたが、どの料理もおいしくて驚いたのを覚えています。そして、ゴーヤは健康にも良いと聞きますので、健康都市宣言をしている流山市にとっては、健康増進のためにもゴーヤによる緑のカーテンをさらに普及させたいと考えています。

「CO₂削減」、「電気代節減」、「おいしく健康」を目標に、皆さんも今年、ゴーヤによる緑のカーテンづくりに挑戦してみませんか。

除染に係る
測定申し込み

ご自宅の除染を希望する方の測定申し込みを今日11日から6月8日まで受け付けます。放射能対策室、各出張所窓口の他、ファクス、電子メール、電子申請でお申し込みを。詳しくは、広報5月1日号か市HPを参照。図放射能対策室 ☎7168-1005

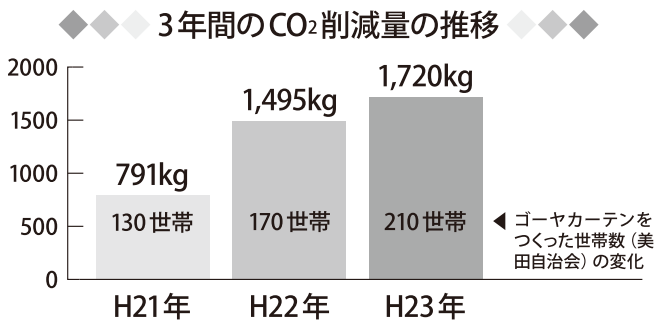


効果を数値で見よう

ゴーヤの緑のカーテンは、二酸化炭素削減にどれくらい効果があるのでしょうか。去年は210世帯がゴーヤカーテンづくりに取り組んだ美田自治会では、効果を数値化し発表しています。その内容をご紹介します。

平成23年7~9月	1カ月の平均電気使用量
ゴーヤカーテンをつかった家	平均 372 kWh
ゴーヤカーテンをつくらなかった家	平均 402 kWh

電気使用料金をすると 3ヶ月で **1,980** 円の差!



なぜ、緑のカーテンは涼しいの?

夏、直射日光によって熱せられたコンクリートはなかなか温度が下がらず、その照り返しが部屋の温度も上げ、夜中になっても気温が下がりません。ですからカーテンやよしずなどで日差しを遮ることが必要になってくるのですが、緑のカーテンがすごいのは「蒸散作用」があること。植物は日に当たって暑いとき、根から水を吸って呼吸とともに葉から水分を出す「蒸散」を行っているのです。つまり霧吹きから水が出ているような状態が起こり、これによって周りの熱を冷やします。

細かい水のベールを通してきた風は、天然のクーラー。緑のカーテンがあれば、窓を開けていても快適に過ごせます。

あなたの愛情で 緑のカーテンを まちいっぱい!



ゴーヤの緑のカーテンは、緑の持つ様々な効用により二酸化炭素の排出を抑えることができます。またゴーヤづくりを通じて、地域のつながりを深める機会にもなります。今年にはゴーヤの緑のカーテンづくりに挑戦し、ひと味違う夏を体験してみませんか。



ながれやまを ゴーヤカーテンのまちに!

NPO 流山ゴーヤカーテン
普及促進協議会会長
松島英雄さん



私とゴーヤとの関わりは、美田自治会の会長として、地域の環境づくりのためにゴーヤのカーテンを作ったことに始まります。そこで感じたことは、ゴーヤカーテンは節電などの効果があるばかりでなく、地域の和を保つために最良の取り組みであるということ。ゴーヤづくりを通じてご近所との会話が進み、新たな交流が生まれるのです。「向こう三軒両隣」という言葉がありますが、地域のつながりがますます大切になっていく時代、ゴーヤづくりは大きな意味のあることだと思います。

そうした中、NPO 流山ゴーヤカーテン普及促進協議会、通称「ながれやまゴーヤクラブ」を発足。設立1年目の去年は、福島第一原発事故による夏場の節電対策と重なり、私たちの取り組みがマスコミなどでも大きく取り上げられました。そして今年度は流山市から業務委託を受け、私たちが培ったゴーヤづくりのノウハウを役立て、ゴーヤカーテンを普及させるお手伝いをしていきたいと思っています。

NPO 流山ゴーヤカーテン 普及促進協議会 の取り組み

ゴーヤによる緑のカーテン運動を通じて、「涼・食・和」の3つの利点を広く市民に伝えることを目的に活動を行っており、ゴーヤについての出前講座、苗の配布、種からの育苗方法の普及、収穫したゴーヤを使った健康レシピの紹介などに取り組んでいます。

事務局 ☎7154-2327 (馬渡)

3 親づるの摘心

とっても重要!

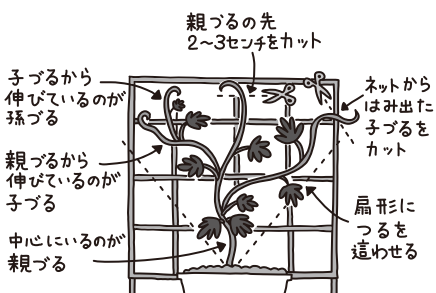
①本葉が6~8枚になったら、親づるの先(真ん中のつるの先)をハサミで切ります。これは親づるから伸びていく子づるの成長、ひいては孫づるの成長を促し、横にきれいにカーテン状にするうえで欠かせない作業です。



親づるの先端をカット

②植え付け1カ月後を目安に肥料をあげ、以降、2週間に1度くらい追肥すると良く育ちます。

③水やりは夏の暑い日には朝、夕の2回、たっぷり与えます。



4 収穫

①表面の凹凸が大きくなり、つやが出てきたら収穫時期で、実が緑色のうちに収穫します。

②種を取る場合は、黄色く色づき実の下側の部分が裂けて開くまで待ちます。この実に網袋をかけておくと、果肉が腐り種が袋にたまりやすくなります。採取した種は良く洗って乾燥させ、冷暗所で保存します。



完熟したゴーヤ。種を取るにはここまで待つ

つくって楽しい、食べておいしいゴーヤ!

インタビュー

米満美津子さん

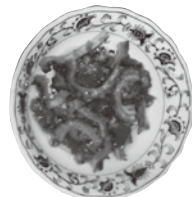
ゴーヤをどうやったらおいしく食べられるか



「今年は種から苗づくりに挑戦します」

〔ゴーヤの漬物〕

- ゴーヤ 200g
梅干し 3個 氷砂糖 50g
- ① ゴーヤはタテに切ってスプーンで種とわたを取る。
 - ② 2ミリ幅くらいに半月に切る。切ったゴーヤは湯通ししないこと。
 - ③ ゴーヤ、梅干し、氷砂糖を密閉容器に入れる。ゴーヤから水が出て氷砂糖が溶けたらできあがり。冷蔵庫で冷やして食べるとおいしい。



緑のカーテンの日陰がほしくて、昨年初めてつくりました。じつは実の方はあまりほしくなかったんです(笑)。ゴーヤは苦いという印象が強かったですし、料理といえばチャンプルくらいしか思い浮かびませんでしたから。ところが予想を上回る収穫量で、いろいろ工夫してレシピを考えるようになりました。そのうちの一品が「ゴーヤの漬物」です。これが思いがけず、第2回ゴーヤレシピコンテストで銅賞をいただきました。

ゴーヤはなかなか手強い食材だと思います。だからこそ、家族においしく食べてもらえるよう考える。そこが主婦としての腕の見せ所ですね。

インタビュー

金井芳生さん

電気に頼らず、快適な涼しさを手に入れる



「作り方のノウハウを蓄積していくことも楽しいですね。ゴーヤ仲間と情報交換することも多いです」



つるを這わせるネットをピンと張るために、ベグ(打ち込み丸かん)を使って固定する

夏の盛りの夕暮れ時、ゴーヤの葉に水をかけて窓を開けます。そうすると涼しい風がすーっと部屋に入ってきて、なんとも言えない心地よさです。クーラーの風とはまったく違う冷気ですし、緑陰は見た目にも涼しく、これを知ったら緑のカーテンづくりはやめられませんね。

今年で4年目になりますが、その時からずっと毎月の電気料金を記録しています。それを見るとこの3年間で、確実に電気の使用量は減っています。原発の問題で、今年の夏はさらなる節電が必要となりそうです。緑のカーテンで楽しみながら、節電につなげていきたいですね。

緑のカーテンをつくってコンテストに応募しよう!

図環境政策課 ☎7150-6083

第5回 緑のカーテン写真コンテスト

ゴーヤやアサガオなどを使った緑のカーテンのある風景を写真におさめ、ご応募ください。



▶入賞写真

第4回コンテスト事業所部門で金賞を受賞した「駒木台第一自治会」の作品

第3回 ゴーヤレシピコンテスト

「カーテンにして節電に良し、料理して健康、美容に良し。ゴーヤは最高のECOの実(エコノミー)」をキャッチフレーズに、ゴーヤレシピのアイデアを募集します。材料や作り方を記入して、ご応募ください。



▶入賞写真

第2回コンテストで金賞を受賞した「ゴーヤ入りチヂミ」

※入賞作品は環境政策課のホームページでご覧になれます。

今頃がおすすめです 種からゴーヤを育てよう

マンションなどの集合住宅でもプランターを使って手軽に作るができます。

1 種から苗をつくらう

- ① 発芽しやすくするため、種のとがった方を爪切りなどでカットします。



爪切りがよく切れる

- ② 水を入れた小皿等に種をならべ、発芽を待ちます。水の量は種が半分以上浸る程度です。4~5日で白い根が出てきます。

- ③ 土を入れたポットなどに白い根を下にして植えます。深植えにならないように注意。発芽温度は25度以上必要なので、暖かい場所に置きましょう。通常1週間程度で発芽し、双葉が成長して4枚程度になったら定植します。

2 苗を植える

- ① 培養土にホームセンターなどで売られている鶏糞または牛糞、油かす、化成肥料、苦土石灰(少量)などを加え十分に混ぜ合わせます。
- ② 苗は30センチ以上の間隔をおいて植えます。27リットルのプランター(幅50センチ)ならゴーヤ苗1本が目安。一間(約180センチ)の窓の場合、27リットルのプランター4個の設置で十分なカーテンが完成します。
- ③ 水やりは植えた後はたっぷりと与えますが、苗がまだ小さいうちは根腐れを起こさないよう、表面の土が乾いたら適度にやります。

ストップ温暖化!ながれやま20⇒20プラン

低炭素なまちをめざして、ながれやまが取り組んでいること

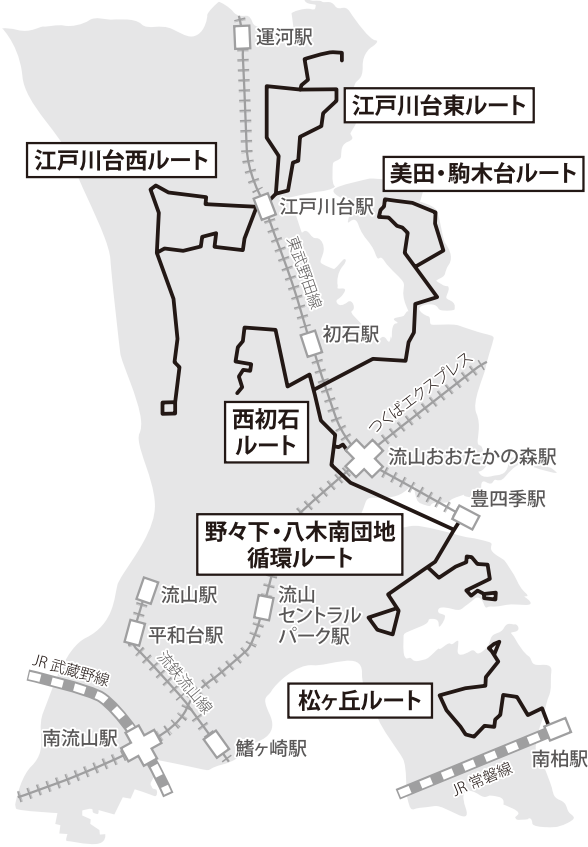


流山ぐりーんバス

運賃/大人150円、子ども80円 ※前払い制。
 ※妊婦さんや障がいのある方には割引制度があります。
 ルート/現在、右記の6ルートを実行しています。

詳しいルートは市ホームページで検索

都市計画課 交通計画推進室 ☎7150-6087



ぐりーんバスに乗って、
二酸化炭素の排出量を抑えよう
 市内を走るコミュニティバスとして親しまれているぐりーんバス。路線バスが走らない地区で、バスが必要な地区を中心に、流山市独自の交通手段として各ルートを実行しています。駅と自宅の往復などに公共の乗り物を使うことで、自家用車の利用を減らし、地球温暖化防止の一翼を担います。環境に優しい交通手段として、ぐりーんバスをぜひ活用ください。



助かっています! 小島多一さん・弘子さん



江戸川台駅から自宅まで利用しています。駅から12～13分の距離なので歩けないわけではないのですが、便利なのでついバス停に並んでいます(笑)。荷物の多い時や雨の時など、本当に助かりますね。近頃では利用者が前よりも増えているように思います。環境にも良いので、これからもどんどん利用しますよ。

「森の図書館」までは歩いてきました」と小島さんご夫妻

電気の使用量を意識するよう…

金子弘之さん・久美子さん

昨年11月に家を新築した際に取り付けました。東日本大震災のことがあって、自分の家の屋根で電気をつくれるという点に惹かれました。



太陽光発電設備のモニターパネル

発電状況を示すモニターパネルには発電量のほか、電気使用量やCO₂削減量なども数字で表示されます。

数字で確認できるので「今日は使いすぎているな」とか、電気の使用について意識するようになりましたね。また、3月の電気料金約11,000円のうち、約8,000円分を太陽光で発電。思った以上に発電能力があって、日照時間の増えるこれからの季節が楽しみです。



金子さんは4人家族。約3kWの発電設備で9万円の市の助成を受けた

◇平成24年度太陽光発電設備設置奨励事業◇ (市内事業者から購入・設置した方が対象)

対象者/

- ①平成24年4月1日以降に太陽光発電設備を設置し支払いをしていること(費用を支払った日から6カ月以内の申請が必要)。
- ②市内の事業者(事業所が流山市内にあること)から未使用の太陽光発電設備を購入、設置したこと。
- ③市税を滞納していないこと。

対象設備/

- ①設備はすべて未使用のもので、電力会社と電力需給契約がある太陽光発電設備。
- ②奨励金の交付は1住宅につき、1回限り。

奨励金額/

- ①1kWあたり3万円(上限額12万円)。
- ②受付は申請順で行い、予算の範囲内で交付。年度途中であっても申請額が予算額に達した時点で締め切り。

環境政策課 ☎7150-6083

▼流山市太陽光発電設備設置奨励金の交付状況等

	市内事業者からの設置・購入件数	対象者への奨励金交付額	市内事業者の販売実績額
H22年度	40件	200万円	8,200万円
H23年度	88件	895万円	1億9,200万円

(太陽光発電の普及と合わせ、市内事業活性化にも寄与しています)

太陽光発電

ソーラーパネルで
環境と家計に優しい暮らし

太陽光発電は、屋根などにパネル型の太陽電池を設置し、太陽光のエネルギーを電力に変え利用する発電方法です。自宅や事業所で電力を供給できるとともに、二酸化炭素などの排出量を削減でき、低炭素社会のまちづくりに欠かせない再生可能エネルギーです。流山市では太陽光発電設備の設置費用に対し、奨励金を交付しています。



電気自動車 公用車に電気自動車を導入しています

「地球におもいやりを!」と書かれた市の車をご存知ですか? この電気自動車は排気ガスを一切出さず、二酸化炭素の排出量は従来型の軽自動車と比べて約70%削減できます。地球温暖化対策の一環として導入したこの車のボディには、流山市の地球環境に配慮する気持ちを込めて、地球と「eco」の文字、そして市の花・つつじを入れました。これを機会に、多くの市民や事業者の方に電気自動車を知っていただければと思います。

「都心から一番近い森のまち」をイメージした明るいグリーンの車体

